

coesia

# グローバル内部通 報方針

# 目次

1. 目的	3
2. 一般原則	4
3. 誰が報告できるか	5
4. 報告できること、できないこと	5
5. 報告方法	6
6. 内部通報者および通報者の保護の原則	8
7. 内部通報プロセス管理	10
8. 記録管理と個人データの収集	12
9. 定義	13
10. よくある質問 (FAQ)	15

## Coesia グローバル内部通報方針

適用範囲: Coesia S.p.A. および子会社

承認者: Coesia S.p.A.取締役会

発行者: Coesia S.p.A. CEO

日付: 2024年2月

改訂: v.1.0

# 1. 目的

Coesia S.p.A. (以下、「Coesia」または「当社」といいます) およびその子会社は、「Coesia 倫理規範」に定められた価値観と行動基準に従い、また現在有効な規制に準じて、本方針に定める手順を遵守し、適切かつ専用のチャネルを使って報告するものとします。

とりわけ、本方針の目的は、Coesia の名において、またはそれを代表して、Coesia の利益のために行動するすべての個人<sup>1</sup>に、グループ倫理規範の違反、指令 (EU) 2019/1937 (欧州連合加盟国に拠点を置く企業)、立法令24/2023および立法令231/2001 (イタリアの企業)、Coesia の諸方針、および当社が事業を行う国で適用されている国内法および国際法の不履行を報告するための運用ツールを提供することです。

適用される特定の国内法によって要求される場合、Coesia の子会社は、地域の企業内部通報方針に、地域で使用する内部通報チャネルについて説明し、現在有効な Coesia グローバル内部通報方針に、完全かつ厳格に準拠して用いるものとします。本方針のいずれかの規定が、国内の内部通報に関する国内法の規定と矛盾する場合、現地の企業内部通報方針に、効力のある国内法規定がそれに優先することを言及するものとします。

Coesia は、内部監査人または外部独立専門家の支援のもと、本方針の正確な実施を検証するための適切な監査および統制を実施する権利を保有し、定期的に見直され、必要に応じて更新されるものとします。

本方針についてご質問がある場合は、「よくある質問 (FAQ)」の10項を参照してください。

---

<sup>1</sup> **内部関係者** (例: 有期契約、臨時労働者、ボランティア、研修生など、契約に基づくすべての協力者) および **外部関係者** (例: 採用プロセス中、または当社、クライアント、サプライヤ、パートナー、および一般のすべての関係者との過去の業務上の関係における違反に関する情報)。詳細は、FAQ の第10項を参照してください。

## 2. 一般原則

Coesia は、本方針に説明される活動の実行に関与する個人が、次の原則に従って活動することを要求し、保証します。

### 機密保持

通報者の身元は、通報者の事前の同意を得ることなく、レポートの管理に携わる関係者以外の者に開示されないものとします。

### 透明性

本方針の実行に関与するすべての個人は、完全に透明性のある形で職務を遂行し、プロセス全体が誠実に管理されることを保証します。

### 公平性、独立性、当社の従業員としての自覚

どのような報告であっても、客観性、能力、および専門性という必要条件を確実に保証、維持する方法で取り扱う必要があります。

### 真実性と妥当性

すべての情報および主張は、誠実かつ合理的な根拠に基づいて報告する必要があります。

### 内部通報者と他の関係者を保護するための報告の禁止

誠実かつ合理的な根拠に基づき行動することを条件に、内部通報者と、その案件に関与する可能性のある潜在的な他の当事者は、いかなる報復行為からも保護されます。

### 3. 誰が報告すべきか

レポートは誰でも提出することができます。Coesia では、業務関連の活動において違反の可能性を認識したすべての個人に報告範囲を広げています。

### 4. 報告できること、できないこと

次の潜在的な違反を特定したすべての人：

- Coesia 倫理規範
- EU法および平行して執行される欧州連合加盟国内の法律の違反を報告する個人の保護に関する指令 (UE) 2019/1937 (欧州連合加盟国に拠点を置く企業)
- 組織、管理および統制モデル-法令24/2023および231/2001 (イタリアの企業の場合)
- グローバル内部通報方針
- 国内法および国際法<sup>2</sup>および規制に対する違反

は、**報告することが義務付けられています。**

信頼性の低い憶測や陰口(「うわさ話」など)のみに基づく情報は

**報告することはできません。**

---

<sup>2</sup> 行政、会計、民事または刑事犯罪、製品コンプライアンスと安全性、輸送の安全性、環境保護と公衆衛生を含みますが、それらに限定されない領域に関する報告(詳細は、FAQ 第10項を参照してください)。

## 5. 報告方法

Coesia では、レポートを送信するためのグループチャンネルを設定しています。

### 書面による報告

(次からオンラインでアクセス可能な**内部通報デジタルプラットフォーム**を使った報告:



コンピュータ経由でのオンラインアクセスする場合のリンク [coesia.ethicspoint.com](https://coesia.ethicspoint.com)、



モバイルリンク [coesia.navexone.eu](https://coesia.navexone.eu))  
または、以下のQRコードをスキャンする。



### 口頭による報告



フリーダイヤルの番号<sup>3</sup>は、[coesia.ethicspoint.com](https://coesia.ethicspoint.com)より確認ください。  
(年中無休)

(上記のチャンネルでは、内部通報者の母国語で匿名の報告を行うことができます)。

レポートを提出すると、通報者は「報告キー」と呼ばれるアクセスコードを受け取ります。これはパスワードとともに、プラットフォーム上の返信や質問を確認するために使用できます。

<sup>3</sup> 電話ホットラインは、Navex Staff によって管理され、報告をシステムに転記します。

内部通報者は、特定の状況下で、該当する場合にのみ、外部報告チャネルを使用したり、公開を作成したりする可能性があります<sup>4</sup>。

「報告方法」の詳細は、「Coesia倫理規範」に記載されている積極的な提案（改善のための新しいアイデアや提案）または倫理規範の違反について記載されています。

---

<sup>4</sup> 公的機関への**外部報告チャネル**の使用を規定する法律がある国では、これは次の特定の条件下で有効にすることができます。

- 内部チャネルが有効でないか、内部通報者の機密性が保証されていない。
- 社内チャネルを通じて作成されたレポートが、規定の期間内に対応されない、または適切に対処されていない。
- 報告者に、内部チャネルを通じた報告が効果的にフォローアップされないか、報復のリスクをもたらすと信じる合理的な根拠がある。
- 報告者に、違反によって公共の利益に差し迫った危険、または明白な危険（健康、安全または環境の危険）がもたらされると信じる合理的な根拠がある。
- 法律で義務付けられている。

**情報の公開** は、次の場合にのみ行われます。

- 報告担当者が、必要な期間内にフォローアップされなかった内部または外部の報告をすでに行っている。
- 報告者には、違反が公共の利益に対する差し迫った、または明白な危険を構成する可能性があるかと信じる理由がある。
- 報告者に、報復の危険がある、または証拠が隠蔽または破壊される可能性がある、または報告を受けた人が違反者または違反行為に関与している可能性があるなど、特定の状況により、報告が効果的に対処されないと信じる合理的な根拠がある。
- 法律で義務付けられている。

## 6. 内部通報者および通報者の保護に関する原則

Coesia は、Navex プラットフォームを使用したオープンな報告を奨励し、内部通報者および報告された当事者を保護するために次の原則を採用しています。

### a. 匿名性と機密性

内部通報者は、次のような報告を行うことができます。

- **オープン**: 内部通報者は、個人的な連絡先の詳細を提供します。
- **匿名**: 内部通報者が NAVEX プラットフォームに連絡先メールアドレスを提供することを選択した場合、そのメールアドレスは Coesia には転送されず、**Coesia 内部通報管理チーム**がシステムに返信したり、質問が投稿されるたびに、通知メールが送信されます。通報者が連絡先の電子メールを入力しないことを選択した場合は、提供されたパスワードと「報告キー」を使用してシステムにアクセスし、更新がないかどうかを確認する責任があります。

いずれの場合も、通報者の身元及び直接又は間接に通報者の身元を明らかにする可能性のあるその他のすべての情報は、事前の通知および書面による同意なしに、通報の受領及びフォローアップを担当する者以外に開示しないものとします。

### b. 報復に対する保護

内部通報者、外部当事者、法人、および内部通報者に関連するその他の主体は、あらゆる形態の報復<sup>5</sup> または差別から保護されます。

### c. 通知を受ける権利

報告された締約国は、自己の防衛権を行使するために、自己に対する通報及び懲戒措置に関する情報を受け取る権利を有する。

---

<sup>5</sup> 解雇、停職または同等の措置、期間契約の非更新または早期終了、商品またはサービスの供給契約の早期終了またはキャンセルなど（詳細は、FAQの10項を参照してください）。

d. 報告された違反に客観的な証拠が欠けている場合、国内法および/または契約手続きに準じて、**報告された当事者は懲戒処分の対象とはなりません。**

e. **利益相反の管理**

本方針では、利益相反の立場にない人々のみがレポートを管理することを保証します。

**Coesia 内部通報管理チーム** または **現地担当者** (該当する場合) の名前が言及されている場合は、**Coesia 社長に直接レポートが転送されます。**

## 7. 内部通報プロセス管理

Coesia倫理委員会は、Coesia社長の議長を務める独立した自律的な組織であり、Isabella Ser à gnoli、Iole Anna Savini、Giorgia Capuzzo、Paolo Fabiani、Paola Lanzariniで構成されている。委員会は、**Coesia内部通報管理チーム**に特に許容可能性の段階でサポートとガイダンスを提供し、評価または内部調査を有効にするかどうかを選択し、特定の企業機能または外部コンサルタントの関与を特定し、レポートを終了します。

**Coesia 内部通報管理チーム** は、Paolo Fabiani と Paola Lanzarini が担当し、公平に業務を行い、潜在的な違反の報告プロセスを管理および調整して、報告または調査に利益相反がないことを確認する責任を負います。

**Coesia 内部通報管理チーム** は、すべての報告を受け取り、次の活動に責任を負います。

- **報告を受けてから7日以内に、通報者に報告の受領を確認する通知する**
- 内部通報者とコミュニケーションを維持し、必要に応じて、**追加の情報を求める**
- グループ倫理委員会の支援のもと、**レポートの有効性を評価する**（必要な場合）。
- 報告の主題に基づき、**関与する内部機能/組織または委員会を定義する**
- グループ倫理委員会（必要な場合）に従って、**評価または内部調査を開始し**、他の内部機能および/または外部コンサルタントの関与を定義する
- **3か月以内にレポートに対するフィードバックを提供する**（通知を受けてから3か月以内。通知が送信されなかった場合は、報告を受領後7日間の確認期限が終了した日から3か月以内）。
- 報告システムに関して**疑念がある場合、通報者に支援を提供する**
- 報告システムに関して、従業員と外部当事者の **認識を向上する** ために適切な措置を提供する<sup>6</sup>。

<sup>6</sup> 本方針について **外部の当事者** に確実に伝達するために、契約文書には特別な情報通知が盛り込まれており、契約書に署名することで承認されます。

適用される国内法によって、現地の連絡担当者を指定することが義務付けられている場合、**Coesia 内部通報管理チーム**には **現地窓口担当者**が自動的に含まれるものとします。また、現地の連絡担当者は、**Coesia 内部通報管理チーム**の代理人および代表者となります。

## 内部通報プロセス管理に関するガイドライン

### a. 報告の受領と初期評価

報告が有効とみなされるためには、できる限り詳しい情報と状況を説明する必要があります。特に、次の情報を含めることが推奨されます。

- 事実関係の詳細な説明
- 場所、そして可能な場合は、報告する事実関係の日時
- 報告する状況と関連する人物を特定するために役立つ個人的な詳細やその他の有効な兆候。

指定の許可されている報告チャンネルを通さずに報告を受け取った場合、すみやかに次のEメールアドレスに転送する必要があります：[codethics@coesia.com](mailto:codethics@coesia.com)。

### b. 評価/内部調査およびケース終了

**Coesia 内部通報管理チーム**によって特定された社内機能および/または外部コンサルタントは、グループ倫理委員会の支援のもと(必要な場合)、報告された事象を実証するために役立つ可能性のある、すべての要素を特定、検証、および評価するための、評価、社内調査、またはターゲットを絞った検査を実施する責任を負います。

ケース終了は、追加の措置や、さらなる調査が必要ないとみなされた時点で、**Coesia 内部通報管理チーム**によって決定されます。

違反が確認された場合は、アクションプランを作成することが推奨されます。

関連の法令または本方針に違反する行為があった場合、当社は懲戒措置を適用する場合があります。

## 8. 記録管理と個人データの収集

報告はすべて、個人データ保護規則に準じて処理されるものとします。

レポートに関する全ての文書は、報告管理プロセスを通じて保管される必要があります。国内法に別途規定されている場合を除き、内部通報に関するすべての文書は、最終結果が内部通報者に通知されてから5年間保管する必要があります。

内部通報レポートを管理する際に入手された、内部通報者または関係者の個人情報（人種や民族的起源、宗教的および哲学的信念、政治的見解、政党または労働組合への加入、健康や性的指向、犯罪歴や犯罪に関連する機密データなどの、特別なカテゴリの情報を含む）は、適切なデータ保護規則の規定に準じて取り扱われます。

Coesia は、（書面および口頭の）レポートを受け取るための機密チャンネルを設計および実装し、レポートを安全な方法で処理し、内部通報者の匿名性と身元の機密性、および関係する外部当事者の機密性を確保します（管轄当局による調査または司法手続きに関連する必要かつ比例的な要件を除く）。

個人データの処理は、適用法で定められた条件内でレポートを適切に処理するために厳密に必要な範囲に限定されます。この期間が経過すると、すべての文書が削除されます。

## 9. 定義:

COESIA	Coesia S.p.A. および Coesia グループのすべての会社。
Coesia 内部通報管理チーム	グループ倫理委員会のメンバーであり、違反の報告プロセスを管理および調整する責任を負う2名の指名担当者: Paolo Fabiani および Paola Lanzarini。
Navex	国際的な規制要件を満たし、最高水準のデータセキュリティと保護を保証する、Coesia が指定するデジタルプラットフォーム。機密性の高い個人データの処理は、現行の規制に完全準拠して行われます。
グループ倫理委員会	Coesia 社長が主導する独立した自治委員会で、Isabella Seragnoli, Iole Anna Savini, Giorgia Capuzzo, Paolo Fabiani, および Paola Lanzarini で構成されています。
倫理規範	Coesia の Web サイトで公開されているグループ倫理規範。
公開開示	違反に関する情報を公開すること。
内部チャンネル	会社が管理するすべてのチャンネル。内部通報者は、本方針で定義されたガイドラインに沿って報告することができます。
内部通報	Coesia 倫理規定または諸方針、もしくは違法行為の疑いについて報告する人。報告または開示は誠意的に行われ、直接の金銭的利益がないこと。
内部通報レポート	違反の疑いに関する、書面または口頭(または国内法で規制されている場合は対面)によるコミュニケーション。
内部通報者の関係者	報告者の同僚や家族など、仕事に関連した状況で報復を受けられる可能性のある個人。

<b>内部関係者</b>	<p>Coesia S.p.A. またはその子会社と社内ビジネス関係にあるすべての人。</p>
<b>報告対象者</b>	<p>内部通報者の報告の中で、違反の疑いに関与する責任者または関係者として言及されている個人または組織。</p>
<b>報復</b>	<p>報告者に対する脅迫を含むあらゆる種類の不利な行為、作為または不作為で、報告者に直接的または間接的な損害、被害、または不当な損害を与える可能性があるもの。</p>
<b>外部チャンネル</b>	<p>公的機関が管理するチャンネルで、内部通報者は国内法で定められた条件に従い、このチャンネルを通じて報告を行うことができます。</p>
<b>外部当事者</b>	<p>Coesia S.p.A. またはその子会社と外部関係にある第三者。</p>
<b>現地連絡担当者</b>	<p>現地の法律またはベストプラクティスによって指定される Coesia の違反報告プロセスの管理および調整に責任を負う担当責任者。</p>

## 10. よくある質問 (FAQ)

### なぜ報告するのか？

内部通報は、Coesia が次のことを行えるようにするために重要です。

- グループまたは第三者の利益と誠実性を損なわせるような違反または不正行為を特定し、対処することにより、不正行為に対抗し、問題が拡大する前に処理できるようにする。
- Coesia 倫理規範およびグループの社内方針に反する問題についての意識を高める。
- 風評被害を回避する。
- オープンな文化を促進する。

### 報告できるのは誰か

**レポートは誰でも提出することができます。**例えば、次の当事者が含まれますが、これらに限定されません。

- 有期契約、臨時労働者、ボランティア、研修生を含む契約上の合意に基づく Coesia の全従業員と関連会社
- 役員、取締役、管理者、統治機関および監督機関のメンバー
- 自営業の協力者、派遣労働者および臨時労働者、フリーランサー、独立請負業者および下請け業者、エージェントおよびコンサルタント
- 雇用関係が開始する前の、採用プロセス中の違反についての情報を入手した個人
- 会社と以前の雇用関係中に違反を認識した Coesia およびその子会社の元従業員またはパートナー
- 顧客、サプライヤ、パートナー、および一般のすべての利害関係者
- 国際法および国内法で言及されている特定の利害関係者 (調査機関の職員、公務員など)。

## 報告できることは何か

次の領域の違反に関する懸念を報告することができます。

- グループの倫理規範
- EU法および平行して執行される欧州連合加盟国内の法律の違反を報告する個人の保護に関する指令 (UE) 2019/1937 (欧州連合加盟国に拠点を置く企業)
- 組織、管理および統制モデル-法令24/2023および231/2001 (イタリアの企業)
- 当社の 諸方針
- 国内法および国際法

## 報告できないことは何か

信頼性の低い憶測や陰口(「うわさ話」など)にのみ基づいて取得した情報

## いつ報告すべきか

報告は、内部通報者が違反の疑いがあることを認識した時点で、**速やか**に行われる必要があります。

## 第三者から報告を受けた場合の対処法

レポートがCoesiaによって特定され承認された者以外に送信される場合、レポートは、**受領後7日以内**に内部通報管理チームまたは現地担当者(該当する場合)に送信する必要があります。

さらに、内部通報者にも同時に通知する必要があります。

## 個人データの機密性と管理に関して、どのような保護措置が適用されていますか？

法的義務を損なうことなく、内部通報者の身元、および直接的または間接的にその身元を推測できるその他の情報は、内部通報者の明示的な同意なしに開示することはできません。また、レポートに記載されている関係者および/または言及されている人物、およびファシリテーター（レポートの作成プロセスにおいて報告者を支援する人物）に対しても、機密性が保証されます。

また、個人データは個人データ保護規則に従って処理されます。

## 報復とは何ですか？

報復とは、以下に示すあらゆる形態の有害な行為のことです（これは完全なリストではありません）。

- 解雇、停職、または同等の措置
- 降格または昇進の見送り
- 仕事の割り当て、職場、労働時間または報酬の変更
- トレーニングの保留または制限
- 不利な個人記録またはマイナスの業績評価
- 罰金を含む懲戒処分またはその他の制裁の発動または施行。
- 強制、脅迫、嫌がらせ、または排斥
- 差別、不利または不当な扱い
- 労働者が正当に期待しているにもかかわらず、臨時雇用契約を常勤雇用契約に転換しない。
- 期間契約の更新の不履行または早期終了
- 損害、特にソーシャルメディアでの評判の低下、または経済的機会や収入の損失を含む金銭的偏見。
- 正式または非公式の業界別または産業別の協定に基づくブラックリストへの追加（この業界または産業における将来の雇用を妨げる可能性があるもの）。
- 商品またはサービスの供給に関する契約の早期終了またはキャンセル。
- ライセンスまたは許可の取り消し。